

教育に関する事務の管理及び執行状況の 点検及び評価報告書（平成21年度分）

津久見市教育委員会

はじめに

教育委員会制度は、首長から独立した合議制の教育委員会が決定する教育行政の基本方針のもと、教育長、事務局が教育行政事務を執行するものです。

このため、事前に教育委員会が立てた基本方針にそって具体的な教育行政が執行されているかどうかについて、教育委員会自らが事後にチェックする必要性が高いものと考えられます。また、教育委員会が地域住民に対する説明責任を果たし、その活動を充実することが求められています。

このようなことから、平成19年6月に公布された「地方教育行政の組織及び運営に関する法律（以下、「地教行法」という。）」の一部改正によって、平成20年度から教育委員会の行政の執行状況について、点検・評価を実施することが義務づけられ、教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検・評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない（地教行法第27条第1項）ことになりました。

市教育委員会では、「津久見市の教育に関する事務の点検・評価の基本方針」を定めて、毎年、前年度分の点検・評価を行なうこととし、点検・評価にあたっては、既存の「第4次 津久見市総合計画」の計画進ちょく状況に係る意見交換会を活用し、教育行政全般にわたっての問題点の把握に努めました。

本報告書により、市教育委員会の事務・事業に対しまして一層のご理解を深めていただくとともに、「つくみっ子の笑顔があふれるまちづくり」のために、ご支援、ご協力を賜りますようお願いいたします。

津久見市教育委員会

目 次

I	点検・評価にあたって	
1	趣 旨	・ ・ ・ ・ ・ 1
2	点検・評価の実施方法等	・ ・ ・ ・ ・ 1
3	報告書の構成	・ ・ ・ ・ ・ 1
II	第4次津久見市総合計画 基本計画	
	第3章 つくみっ子の笑顔があふれるまち ～教育・文化分野～	
	基本計画策定・施策マネジメントシートについて	・ ・ ・ ・ ・ 2
1	生涯学習社会の確立 (担当 生涯学習課)	・ ・ ・ ・ ・ 3
2	生涯スポーツの振興	
(1)	競技スポーツの強化と推進 (担当 生涯学習課)	・ ・ ・ ・ ・ 5
(2)	生涯スポーツの普及促進 (担当 生涯学習課)	・ ・ ・ ・ ・ 7
3	幼児・学校教育の充実	
(1)	人づくり (担当 学校教育課)	・ ・ ・ ・ ・ 9
(2)	施設の充実 (担当 管理課)	・ ・ ・ ・ 11
(3)	情報化に応じた教育の充実 (担当 学校教育課)	・ ・ ・ ・ 13
4	青少年の健全育成 (担当 生涯学習課)	・ ・ ・ ・ 15
5	地域文化の育成 (担当 生涯学習課)	・ ・ ・ ・ 17
6	交流活動の推進 (担当 学校教育課)	・ ・ ・ ・ 19
III	参考資料 (目次)	・ ・ ・ ・ 21
	(資料の内容)	
1	津久見市の教育に関する事務の点検・評価の基本方針	
2	教育委員会委員	
3	教育委員会の開催状況	
4	教育委員会事務局の組織	
5	教育予算決算額の推移	
6	基本計画策定・施策マネジメントシートの各課別関係資料	

I 点検・評価にあたって

1 趣旨

平成 20 年度 4 月に施行された「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の一部改正に伴い、教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況について、自ら立てた教育行政の基本方針に基づき、点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出するとともに公表することが義務づけられました。本市教育委員会におきましても、昨年を引き続き、評価対象や評価方法についての検討を重ね、「教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価報告書（平成 21 年度分）」にまとめました。

2 点検・評価の実施方法等

点検・評価の対象となるのは前年度分で、今回は平成 21 年度事務執行分です。また、評価項目は、津久見市総合計画における教育委員会所管項目の「施策」についてとし、その主な項目について当該年度の具体的な実施状況の点検・評価を行いました。特に、目標値が設定されている項目については当該年度の進捗状況を数値化しています。

3 報告書の構成

○第 4 次津久見市総合計画 基本計画

第 3 章 つくみっ子の笑顔があふれるまち ～教育・文化分野～では、市総合計画の教育・文化分野に示されている主要な項目ごとの現状と課題、目標・方針の解決や実現に向けて、平成 22 年度を目標とした計画の内容、成果指標を示しています。

※ 基本計画の内容につきましては、教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価報告書（平成 20 年度分）P 2 から P16 までをご参照下さい。

○基本計画策定・施策マネジメントシートについて(P 2 ～)では

目標値が設定されている項目について、当該年度までの実績、並びに今後の目標を数値化して示すと共に、指標から見てとれる成果と課題、今後の取組み方針等について、また、関連する資料について記載しています。

なお、21 ページに平成 21 年度の取組みに関する参考資料（P 22 ～）の目次がありますのでご参照下さい。

Ⅱ 基本計画策定・施策マネジメントシートについて

1 基本計画策定・施策マネジメントシート

目標値が設定されている項目について、当該年度までの実績並びに今後の目標を数値化するとともに、指標から見てとれる成果と課題について、また今後の取組み方針等について示しています。

- * 参考資料6にマネジメントシートに関する各課別の関係資料を添付しておりますので併せてご参照下さい。

平成 21 年度 基本計画策定・施策マネジメントシート

総合計画体系	政策名	つくみっ子の笑顔があふれるまち	施策主管課	生涯学習課
	施策名	1 生涯学習社会の確立	課長名	軸丸 重信
関係課名				

○施策の現状把握

1. 施策の目的と指標

①対象(誰、何を対象としているのか)*人や自然資源等 市民	→	④対象指標(対象の大きさを表す指標)数字は記入しない	
		名称	
		A	市民
		B	
②意図(この施策によって対象をどう変えるのか) 誰もが必要に応じ、適切な学習が行える生涯学習社会を確立することにより、生き甲斐のあるまちを作る。	→	⑤成果指標(意図の達成度を表す指標)数字は記入しない	
		名称	
		A	公民館利用状況
		B	公民館教室数
		C	公民館教室参加者数
		D	図書貸出数(住民一人当たり)
		E	
③結果(どんな結果に結びつけるのか) 市民の企画する市民ニーズに合った公民館教室の開設と指導者の発掘、育成を行い、マンネリ化しつつある教室の活性化を図る。文化協会やボランティア団体が利用しやすい公民館環境を作る。また、NPO法人や大学と協力し新たな事業を実施する。指定管理者制度の導入により市民サービスの向上を図る。			

2. 指標を達成するための主要施策(Do)

主要事業名	平成21年度の事業概要
公民館教室	公民館にて市民161人参加、10の公民館教室を開催し社会教育の振興を図った。
おはなし会 (おとぎのひろば・おはなしのへや)	図書館ボランティアグループたんぽぽと職員による、主に小学校低学年以下を対象にした、本の読み聞かせ等のおはなし会
図書館まつり	毎年1回、図書館開館記念日頃(今年は7月31日)、人形劇・おとぎのひろば・本の交換市・図書館クイズ等を開催。
初心者のための読み聞かせ入門講座	大分県立図書館との共催で、読み聞かせの初心者を対象に、本の選び方・読み聞かせの仕方の入門講座を開催。

3. 指標等の推移 Check1

指標名		単位	16年度 (実績)	17年度 (実績)	18年度 (実績)	19年度 (実績)	20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度 (目標)
対象指標	A	人	22,709	22,379	21,963	21,555	21,267	20,958	19,765
	B								
	C								
成果指標	A	人	24,675	22,969	19,290	22,670	21,550	20,230	26,000
	B	教室	10	11	11	10	10	13	14
	C	人	173	178	155	122	142	161	240
	D	冊	4.7	4.4	4.0	3.8	3.7	3.5	3.5
	E								
	F								

4. 指標から見てとれる成果と課題 Check2

公民館の利用者数は、年々減少傾向にある。津久見市の少子高齢化も要因として推測できるが、魅力ある公民館事業を展開して利用率の向上に努めたい。
住民一人当たりの図書貸出数も減少しているが、今後とも、「お話の会」や「読み聞かせ講座」など利用者拡大に努める。

5. 今後の取組み方針 Action

市民ニーズにあった公民館、地域に開かれた公民館としてより魅力的な活動を展開していく。
図書資料の充実、並びに県立図書館はじめ他市町村図書館等との連携を強化し、相互貸借に努める。

6. 備考

※参考資料6(生涯学習課)

- | | |
|-----------------|----------|
| ①-1 公民館各種教室実施状況 |P56 |
| ①-2 高齢者教室実施状況 |P56 |
| ①-3 市民図書館利用状況等 |P57 |

作成日 17年10月27日
更新日 22年3月31日

平成 21 年度 基本計画策定・施策マネジメントシート

総合計画体系	政策名	つくみっ子の笑顔があふれるまち	施策主管課	生涯学習課
	施策名	2 生涯スポーツの振興 (1) 競技スポーツの強化と推進	課長名	軸丸 重信
関係課名				

○施策の現状把握

1. 施策の目的と指標

①対象(誰、何を対象としているのか)*人や自然資源等 市民	→	④対象指標(対象の大きさを表す指標)数字は記入しない	
		名 称	
		A	市民
		B	
②意図(この施策によって対象をどう変えるのか) 競技スポーツの強化	→	⑤成果指標(意図の達成度を表す指標)数字は記入しない	
		名 称	
		A	参加延べ人数
		B	
		C	
		D	
		E	
③結果(どんな結果に結びつけるのか) 指導者育成やスポーツ活動の普及拡大に努め「スポーツの地づくみ」のイメージにする。			

2. 指標を達成するための主要施策(Do)

主要事業名	平成21年度の事業概要
指導者育成指導	競技スポーツ離れを防ぐため、スポーツ少年団などの指導者の育成を行った。
各種大会助成	競技に対する参加者強化をはかるための場づくりとして各種大会の助成を行った。

3. 指標等の推移 Check1

指標名	単位	16年度 (実績)	17年度 (実績)	18年度 (実績)	19年度 (実績)	20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度 (目標)
対象指標	A 人	22,709	22,379	21,963	21,555	21,267	20,958	19,765
	B							
	C							
成果指標	A 人	146,832	135,029	131,363	123,293	133,411	150,397	170,000
	B							
	C							
	D							
	E							
	F							

4. 指標から見てとれる成果と課題 Check2

競技スポーツ人口は減少の傾向がみられるが、軽スポーツの普及より、体育施設利用者は、横ばいから増加傾向が見受けられる。
 今後は、競技スポーツ利用人口の増加を図ることが課題と思われる。

5. 今後の取組み方針 Action

競技スポーツへの参加を促すため、今後とも指導者の育成ならびに各種大会等への助成を行い、参加者の拡大を図っていく

6. 備考

※参考資料6(生涯学習課)

- ②-1 津久見市体育協会加盟団体名簿P59
- ②-2 スポーツ少年団名簿P59

作成日 17年10月27日
更新日 22年3月31日

平成 21 年度 基本計画策定・施策マネジメントシート

総合計画体系	政策名	つくみっ子の笑顔があふれるまち	施策主管課	生涯学習課
	施策名	2 生涯スポーツの振興 (2) 生涯スポーツの普及促進	課長名	軸丸 重信
関係課名		健康推進課 福祉事務所 市民生活課		

○施策の現状把握

1. 施策の目的と指標

①対象(誰、何を対象としているのか)*人や自然資源等 市民	➡	④対象指標(対象の大きさを表す指標)数字は記入しない	
		名称	
		A	市民
		B	
②意図(この施策によって対象をどう変えるのか) 生涯スポーツの普及促進	➡	⑤成果指標(意図の達成度を表す指標)数字は記入しない	
		名称	
		A	参加延べ人数
		B	
		C	
		D	
		E	
③結果(どんな結果に結びつけるのか) 子供から高齢者までの健康促進			

2. 指標を達成するための主要施策(Do)

主要事業名	平成21年度の事業概要
まちぐるみスポーツ運動	総合型地域スポーツクラブ「エンジョイ」と連携してスポーツで健康づくり・仲間づくりを提唱するとともにスポーツイベント等の開催を行った。

3. 指標等の推移 Check1

指標名		単位	16年度 (実績)	17年度 (実績)	18年度 (実績)	19年度 (実績)	20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度 (目標)
対象指標	A	人	22,709	22,379	21,963	21,555	21,267	20,958	19,765
	B								
	C								
成果指標	A	人	0	0	4,752	5,560	7,296	8,570	7,000
	B								
	C								
	D								
	E								
	F								

4. 指標から見てとれる成果と課題 Check2

総合型地域スポーツクラブ「エンジョイ」の活動によって、子ども及び高齢者等の会員が増加し、参加人数が増えているが、事業増加に伴う経費や運営負担の改善が課題である。

5. 今後の取組み方針 Action

総合型地域スポーツクラブを中心に、スポーツを通じた生きがいがづくり・健康づくり・仲間づくりの強化、推進に努める。

6. 備考

※参考資料6(生涯学習課)

- ②-3 体育施設利用実績資料P59
- ②-4 エンジョイによるスポーツ教室開催実績P59

平成 21 年度 基本計画策定・施策マネジメントシート

総合計画体系	政策名	つくみっ子笑顔あふれるまち	施策主管課	学校教育課
	施策名	3 幼児・学校教育の充実 (1) 人づくり	課長名	仲村 善彦
関係課名		学校教育課、生涯学習課		

1. 施策の目的と指標 (Plan)

①対象(誰、何を対象としているのか)*人や自然資源等 児童(小学生) 生徒(中学生)	➡	④対象指標(対象の大きさを表す指標)		
		名称		単位
		A	児童	人
		B	生徒	人
②意図(この施策によって対象をどう変えるのか) ・豊かな心を持つ人づくり ・基礎・基本学力を有する人づくり ・勤労意欲を培う人づくり ・地域に役立つ人づくり	➡	⑤成果指標(意図の達成度を表す指標)		
		名称		単位
		A	各種市教研行事(音楽会、話し方、弁論大会など)	回
		B	年度内の方策の見直し、提出 学力向上対策	回
		C	草刈などの学校清掃	校
		D	ゴミ拾い運動	校
③結果(どんな結果に結びつけるのか) 各種行事では、練習・発表会などを通して、人との好ましい人間関係を培う。 学力向上対策では、基礎・基本の確実な定着を図る 勤労意欲作りでは、さまざまな体験活動を経験させる中で、勤労の意義を自覚させる。 地域とかかわりながら、自分のふるさつを見直し、すみよい町づくりに関心を持たせる。				

2. 指標を達成するための主要施策(Do)

主要事業名	平成21年度の事業概要
心を育てる体験活動推進事業	小学校において児童に道徳性を育てることを目的に総合的な学習の時間、特別活動等において組織的、計画的な体験活動に取り組む。
津久見市基礎・基本定着状況調査の実施	年度当初に、小学校2年生から中学校3年生に対して学力調査を行い、その結果をもとに各学校毎の学力向上プランを作成し、実践する。
職場体験学習実行委員会の実施	中学校2年生を対象に、市内の事業所と連携し、職場体験学習を実施し、その充実に努める。
栄養教諭を中核とした食育推進事業	栄養教諭の在籍する第一中学校を拠点に市内全校において食育の推進に努める。

3. 指標等の推移 (Check1)

指標名	単位	16年度 (実績)	17年度 (実績)	18年度 (実績)	19年度 (実績)	20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度 (目標)
対象指標	A 人	1,107	1,108	1,082	1,009	953	939	922
	B 人	600	580	541	544	526	556	521
	C							
成果指標	A 回	3	3	6	6	3	3	3
	B 回	3	3	3	3	3	3	3
	C 校	14	14	14	14	12	12	12
	D 校	14	14	14	14	12	12	12
	E							
	F							

4. 指標から見てとれる成果と課題(Check2)

○小学校では、車いす体験等を通じた障がい者理解の学習、市のメダカ公園プロジェクトの参加、地域の清掃活動の参加等体験活動を通じた学習が行われ道徳性を高める実践が年間を通して行われた。

○すべての学校において学力調査の結果をもとに、学校毎の学力向上プランを作成し、実践がなされた。全国学力調査においては小学校6年生の国語、算数ともA知識に関する調査で全国平均を上回った。

○市内の事業所の職場体験学習に対する理解が深まっており、職場体験学習の充実が図られている。

○学習活動サポーターとして教育活動に協力してくれる地域の方々が増えてきている。

○第一中学校では、「弁当の日」の取組みが行われた。市内部の学校でも、食育の授業が行われるようになり、食育の理解が深まってきている。

●学力向上においては、活用力の向上や、算数、数学を中心とした学力の底上げが引き続き課題である。

●地域との関わりについては、学校公開や地域人材の活用等を促進し、さらに学校の取組に対する理解を深め、地域とともに学校づくりに取り組んでいく必要がある。

5. 今後の取組み方針(Action)

・学力向上においては、学力向上推進計画を策定し、市教委主催の研修会の開催、管理職・市教委による授業観察及び事後指導の実施、県教委との連携による授業改善の取組、算数・数学を中心とした市教研の部研究の充実等により学力向上をめざす。

・地域との関わりにおいては、学校公開を学期に1回以上実施したり、放課後に補充学習を行う「学習クラブ」の講師、サポーターに参加・協力していただき、積極的に地域と連携した教育活動に取り組む。

6. 備考

※参考資料6(学校教育課)

- | | |
|----------------------------|----------|
| ① 小中学校児童・生徒数の状況 |P33 |
| ② 津久見市学校教育指導方針 |P34 |
| ③ 心を育てる体験活動推進事業(津久見小学校)の概要 |P38 |
| ④ 津久見市学力向上推進計画 |P40 |
| ⑤ 食育推進事業結果報告書 |P48 |
| ⑥ 職場体験学習実行委員会の概要 |P53 |

作成日 17年10月31日
更新日 22年3月31日

平成 21 年度 基本計画策定・施策マネジメントシート

総合計画体系	政策名	つくみっ子の笑顔があふれるまち	施策主管課	管理課
	施策名	3 幼児・学校教育の充実 (2) 施設の充実	課長名	塩崎 英次
関係課名		まちづくり推進課、総務課、都市建設課、学校教育課		

○施策の現状把握

1. 施策の目的と指標(Plan)

①対象(誰、何を対象としているのか)*人や自然資源等 児童・生徒数、学校数、棟数	→	④対象指標(対象の大きさを表す指標)	
		名称	単位
		A 児童・生徒数	人
		B 学校数	校
		C 棟数	棟
②意図(この施策によって対象をどう変えるのか) 安全安心な学校施設数と耐震化率の推移	→	⑤成果指標(意図の達成度を表す指標)	
		名称	単位
		A 老朽化による施設整備	棟
		B 施設の耐震化	棟
		C	
		D	
		E	
F			
③結果(どんな結果に結びつけるのか) 安全・安心な学校施設整備による児童生徒の安全確保と、地域住民への安全な学校開放および災害時の避難場所の確保			

2. 指標を達成するための主要施策(Do)

主要事業名	平成21年度の事業概要
安全・安心な学校づくり交付金事業 (津久見小学校校舎耐震補強工事)	耐震補強箇所 校舎2棟 鉄骨ブレス15箇所ほか
安全・安心な学校づくり交付金事業 (第二中学校体育館耐震補強及び改修工事)	耐震補強箇所 鉄骨ブレス18箇所及び耐震壁新設4箇所ほか、屋根及び床面の改修
安全・安心な学校づくり交付金事業 (千怒小学校校舎耐震補強工事)	耐震補強箇所 耐震壁新設4箇所ほか

3. 指標等の推移 (Check1)

指標名		単位	16年度 (実績)	17年度 (実績)	18年度 (実績)	19年度 (実績)	20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度 (目標)
対象指標	A	人	1,707	1,688	1,623	1,553	1,479	1,472	1,443
	B	校	15	15	14	14	12	12	12
	C	棟	20	19	19	19	16	15	9
成果指標	A	棟	1	0	0	0	1	0	1
	B	棟	0	0	0	0	0	6	3
	C								
	D								
	E								
	F								

※ 総合計画冊子のH22成果指標の考え方は、H22までにそれぞれ1棟づつ施設整備と耐震診断をすることによる。

4. 指標から見てとれる成果と課題 (Check2)

【成果】

○平成20年度当初耐震化対象棟数は、28棟中16棟(耐震化率42.9%)でありましたが、国の補正予算等を活用し平成20年度1棟、平成21年度で6棟(無垢島小中学校校舎耐震補強不要2棟含む)の耐震化事業を施工、平成21年度末の耐震化率は67.9%となりました。今後については、国の予算の見直し等もとりざたされていますが、その動向を注視しながら耐震化を進めていきたい。

5. 今後の取組み方針 (Action)

・平成22年度は、堅徳小学校校舎改築・第一中学校校舎耐震補強・保戸島小中学校体育館(2棟)耐震補強工事を予定しており、平成26年度までの耐震化事業の完了を目指して計画的に取組みを進めていきたい。

6. 備考

平成21年度に無垢島小中学校校舎の耐震診断を行った結果、耐震補強不要と判定された(Is値0.82)ので、施設の耐震化棟数に2棟加えた。

※参考資料6(管理課)

- ① 学校施設耐震化の状況等(平成22年3月31日現在)P25
- ② 施設整備計画(計画期間 平成20年度から平成22年度)P28

平成 21 年度 基本計画策定・施策マネジメントシート

総合計画体系	政策名	つくみっ子の笑顔があふれるまち	施策主管課	学校教育課
	施策名	3 幼児・学校教育の充実 (3) 情報化に応じた教育の充実	課長名	仲村 善彦
関係課名		まちづくり推進課、総務課、学校教育課		

○施策の現状把握

1. 施策の目的と指標(Plan)

①対象(誰、何を対象としているのか)*人や自然資源等 児童・生徒数、PC台数	→	④対象指標(対象の大きさを表す指標)	
		名称	単位
		A 児童・生徒数	人
		B 最大学級人数+教師	人
		C PC台数	台
②意図(この施策によって対象をどう変えるのか) 情報化に応じた教育の充実のための機器整備	→	⑤成果指標(意図の達成度を表す指標)	
		名称	単位
		A PC整備台数	台
		B	
		C	
		D	
	E		
	F		
③結果(どんな結果に結びつけるのか) 全小中学校においてコンピュータ機器の整備を行い、情報教育の充実を図る。			

2. 指標を達成するための主要施策(Do)

主要事業名	平成21年度の事業概要
学校情報通信技術環境整備事業 (国の補正予算を活用した、 学校ICT整備事業の取組み)	児童・生徒用コンピュータを小学校に、155台、中学校に57台設置、校務用コンピュータを小学校に74台、中学校に60台設置した。
	地デジ対応テレビを小学校の普通教室中心に42型を、中学校の多目的室に52型を、職員室に32型を合計54台設置した。
	市内各小中学校の普通教室、理科室等を中心に校内LANを整備した。
安全安心な学校づくり交付金事業 (国の補正予算を活用した、 学校ICT整備事業の取組み)	市内各小中学校での地デジ対応のアンテナ工事。

3. 指標等の推移(Check1)

指標名		単位	16年度 (実績)	17年度 (実績)	18年度 (実績)	19年度 (実績)	20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度 (目標)
対象指標	A	人	1,707	1,688	1,623	1,553	1,479	1,472	1,422
	B	人	40	40	40	41	41	41	41
	C	台	41	41	41	41	41	41	41
成果指標	A	台	0	0	0	41	41	41	41
	B								
	C								
	D								
	E								
	F								

※ 総合計画冊子のH22成果指標の考え方は、H22までに41台PCを整備することによる。

4. 指標から見てとれる成果と課題(Check2)

【成果】

○各学校においては、コンピュータやプロジェクター等の機器を活用して、学習に対する興味・関心を高めたり、問題意識を持たせたり効果的な活用が図られている。
 ○インターネットを活用した資料収集やプレゼンテーションソフトを使った発表など、学習に生かす児童・生徒の機器活用の技能の向上が見られる。
 ○各学校において機器の更新、ならびに教師用コンピュータの設置、地デジ対応テレビの設置、校内LANの整備が行われ、情報教育に関する環境整備が行われた。

【課題】

●機器の活用に力点が置かれる傾向にあるので、あわせて情報モラルに関わる学習の充実が図られる必要がある。
 ●教師用コンピュータの活用において、特に個人情報の管理の徹底が求められる。

5. 今後の取組み方針(Action)

・今後も、児童・生徒の機器活用の技能向上を図るとともに、情報モラルに関わる学習に各学校が取り組めるよう情報提供等を行い、児童・生徒が適切に情報通信ネットワークを活用できるように能力や資質の向上に努める。
 学校に対して個人情報管理規則を策定し、徹底を図る。

6. 備考

平成 21 年度 基本計画策定・施策マネジメントシート

総合計画体系	政策名	つくみっ子の笑顔があふれるまち	施策主管課	生涯学習課
	施策名	4 青少年の健全育成	課長名	軸丸 重信
関係課名				

○施策の現状把握

1. 施策の目的と指標

①対象(誰、何を対象としているのか)*人や自然資源等 小学生、中学生、高校生、一般青年	→	④対象指標(対象の大きさを表す指標)数字は記入しない	
		名称	
		A 小学生・中学生	人
		B 高校生	人
		C 一般青年	人
②意図(この施策によって対象をどう変えるのか) 青少年の非行防止と有害環境の浄化。 健全な家庭づくり。 青少年の社会参加。	→	⑤成果指標(意図の達成度を表す指標)数字は記入しない	
		名称	
		A 非行少年等の補導状況	人
		B 子ども連絡所設置個所数	個所
		C 少年教育事業参加者数	人
		D 青年教育事業参加者数	人
		E 社会参加者アンケート調査	人
F			
③結果(どんな結果に結びつけるのか) 青少年が安全に暮らせるまちをつくり、高齢者や年下の者に思いやりを持ち、非行に走らないための環境づくりができる また、社会参加への機会をできるだけ多く与え、幅広い視野を持った青少年を育成する。国際社会に対応できる人材育成に早くから取り組める。			

2. 指標を達成するための主要施策(Do)

主要事業名	平成21年度の事業概要
つくみん体験クラブ	小学校3年生から6年生を対象に、学校や年齢を超えての体験や研修を通してリーダーを育てていく。
体験学習事業	小中学生に椎茸の駒打ちを経験させることにより、大分県の特産物の学習をする。

3. 指標等の推移 Check1

指標名		単位	16年度 (実績)	17年度 (実績)	18年度 (実績)	19年度 (実績)	20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度 (目標)
対象指標	A	人	1,707	1,688	1,623	1,553	1,479	1,472	1,443
	B	人	723	599	522	472	458	431	480
	C	人	4,759	4,638	4,488	4,338	4,188	4,253	3,888
成果指標	A	人	131	148	86	29	10	20	10
	B	箇所	480	480	485	439	452	613	620
	C	人	76	49	53	43	108	231	250
	D	人	27	23	25	16	—	—	50
	E	人	—	—	—	—	—	—	40
	F								

4. 指標から見てとれる成果と課題 Check2

「学校支援地域本部事業」、「放課後子どもプラン」などの展開により、20年度より青少年教育事業の参加者数は増加の傾向にある。今後とも学校、地域、家庭との連携・強化に努める。

5. 今後の取組み方針 Action

学校支援地域本部事業、つくみん体験クラブを主要事業として、地域住民の協力による青少年健全育成を図っていく。

6. 備考

※参考資料6(生涯学習課)



- ③-1 学習地域本部事業内容 ……P60
- ③-2 学習クラブ ……P60
- ③-3 つくみん体験クラブ実施内容等 ……P60

平成 21 年度 基本計画策定・施策マネジメントシート

総合計画体系	政策名	つくみっ子の笑顔があふれるまち	施策主管課	生涯学習課
	施策名	5 地域文化の育成	課長名	軸丸 重信
関係課名				

○施策の現状把握

1. 施策の目的と指標

①対象(誰、何を対象としているのか)*人や自然資源等 文化団体、文化財、文化施設		④対象指標(対象の大きさを表す指標)数字は記入しない	
		名称	
		A 文化団体	団体
		B 文化財	件
②意図(この施策によって対象をどう変えるのか) 文化活動に参加できる機会の提供。 文化活動の場としての充実。 郷土文化の発掘と文化財の保護、活用。		⑤成果指標(意図の達成度を表す指標)数字は記入しない	
		名称	
		A 観劇会イベント参加者数	人
		B 市民会館利用状況	人
		C 文化団体数	団体
		D 文化財台帳	件
		E	
F			
③結果(どんな結果に結びつけるのか) 市民会館を市民の文化活動の拠点として位置づけ、観劇会・榎の実会等が招聘する事業をはじめとして、市民に幅広いジャンルの文化に触れる機会を数多く提供する。と同時に、文化協会加入団体を中心に行われている文化活動を積極的に支援することにより、市民の文化・芸術の関心を高め、その意識の向上を図ることができる。 一方、文化財行政においては、文化財調査委員会を中心に、津久見史談会等関係団体との情報交換を密にし、埋もれた郷土の文化や文化財の発掘を行い、保護・活用を図ることにより、郷土愛の醸成が期待できる。			

2. 指標を達成するための主要施策(Do)

主要事業名	平成21年度の事業概要
文化芸術鑑賞機会提供事業	観劇会・榎の実会等文化団体が主催する各種催し物の提供。
文化芸術団体育成支援事業	文化協会加入団体等の育成並びに活動支援。
指定文化財維持管理事業	各種指定文化財の維持管理に対する支援。
伝統芸能保持団体支援事業	伝統芸能保持団体に対する保存に向けた支援。

3. 指標等の推移 Check1

指標名	単位	16年度 (実績)	17年度 (実績)	18年度 (実績)	19年度 (実績)	20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度 (目標)
対象指標	A 団体	42	42	43	41	47	49	50
	B 件	20	20	20	20	21	21	25
	C 館	64	64	64	65	65	65	66
成果指標	A 人	1,715	426	1,214	1,645	1,645	1,424	2,000
	B 人	93,374	89,669	93,758	97,454	87,711	83,442	92,000
	C 団体	42	42	43	41	41	41	45
	D 件	20	20	20	20	20	20	25
	E							
	F							

4. 指標から見てとれる成果と課題 Check2

文化団体の数、会員数は、横這い状態で、文化協会を中心とした文化・芸術活動はおおむね定着している。
観劇会のイベント参加者及び市民会館利用状況については、入場数が減少しているが、増員にむけて魅力的な事業を展開に努める。

5. 今後の取組み方針 Action

文化関係団体の自主運営に向けた取り組みの検討。

6. 備考

※参考資料6(生涯学習課)

- ④-1 観劇会事業 ……P61
- ④-2 樫の実会事業 ……P61
- ④-3 津久見市文化協会事業 ……P61
- ④-4 市民会館・市公民館及び図書館の使用状況 ……P61

作成日 17年11月1日
更新日 22年3月31日

平成 21 年度 基本計画策定・施策マネジメントシート

総合計画体系	政策名	つくみっ子笑顔あふれるまち	施策主管課	学校教育課
	施策名	6 交流活動の推進	課長名	仲村 善彦
関係課名	学校教育課、生涯学習課			

1. 施策の目的と指標(Plan)

①対象(誰、何を対象としているのか)*人や自然資源等 児童(小学生) 生徒(中校生)	➡	④対象指標(対象の大きさを表す指標)		
		名称		単位
		A	児童	人
		B	生徒	人
②意図(この施策によって対象をどう変えるのか) 国際理解及び国際交流の推進	➡	⑤成果指標(意図の達成度を表す指標)		
		名称		単位
		A	英語弁論大会の実施	回
		B	年度内の方策の見直し、提出 学力向上対策	回
		C	外国語の学習機会の推進と理解	校
		D		
		E		
③結果(どんな結果に結びつけるのか) 英語をはじめ韓国語や中国語など将来の交流機会を予想し、事前の学習や交流を推進することにより、国際理解や交流が広まる				

2. 指標を達成するための主要施策(Do)

主要事業名	平成21年度の事業概要
外国語指導助手(ALT)の配置	外国語指導助手を配置し、小学校の外国語活動、中学校の英語科の授業において外国語教育の推進に努める。

3. 指標等の推移 (Check1)

指標名	単位	16年度 (実績)	17年度 (実績)	18年度 (実績)	19年度 (実績)	20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度 (目標)
対象指標	A 人	1,107	1,108	1,082	1,009	968	921	922
	B 人	600	580	541	544	528	551	521
	C							
成果指標	A 回	1	1	1	1	1	1	1
	B 回	1	1	1	1	1	1	1
	C 校	14	14	14	14	12	12	12
	D							
	E							
	F							

4. 指標から見てとれる成果と課題 (Check2)

【成果】

○外国語教育の充実とコミュニケーション能力を身に付け諸外国との相互理解を深めるなど、国際理解を進めるために外国語指導助手を活用し、中学校を中心に英語指導に取り組んできた。また、小学校の高学年に対して、外国語活動の授業においても外国語指導助手を活用することで、英語に対する興味・関心が高まり、中学校での英語教育とのつながりができてきた。

5. 今後の取組み方針 (Action)

・小学校の高学年において外国語活動の授業時数が増すので、可能な範囲で外国語指導助手の派遣回数を増やすとともに、教材の配置に努めたい。

6. 備考

※参考資料6(学校教育課)

⑦ 英語指導助手学校派遣計画

.....P55